

身体科病院からみたアルコール依存症とは？ より多くの人を適切な支援に繋ぐために “ここで出来る”をつなげよう アルコール依存症支援

～ トリートメントギャップを埋めるためにそれぞれが出来ること～

お酒の問題でお困りの医療・福祉関係者のみなさまへ

日本には、アルコール依存症はおおよそ109万人と推測されておりますが、治療につながっている方は約4万人と3.7%に留まっています。この差はトリートメントギャップと呼ばれています。「アルコール健康障害対策推進基本計画」では、一般病院においてアルコール問題への早期介入を行うこと、そして一般病院と専門医療機関が連携を行っていくことの重要性が述べられており、実際にもアルコールの問題をかかえた患者さんが専門病院へたどり着くまでに、一般病院への受診を経験していることが殆どです。

このタイミングで適切な医療資源につながる・つなげることはなぜ困難なのでしょう。

今回の研修では、身体科病院でアルコール依存症治療・支援に取り組んでこられた経験を2名の講師の方にお聞きする中で、各機関の現状を共有しつつ、枠組みを超えた連携のあり方を検討する機会にしていけたらと思います。

座長：医療法人北仁会 旭山病院

理事長 山家 研司 先生

講師：医療法人社団豊生会 豊生会元町総合クリニック

消化器内科・在宅医 梅村 真知子 先生

講師：日本医療ソーシャルワーカー協会

依存症リカバリーソーシャルワークチーム 田中 幸 先生

参加料

無料

日時

令和5年11月25日(土) 9:00～12:00

場所

北海道クリスチャンセンター 札幌市北区北7条西6丁目

対象者

依存症支援に携わっている医療、福祉関係者

申込方法

右のQRコードからお申し込みください

締め切り

2023年11月20日

お問合せ

医療法人北仁会 旭山病院
kyoten.asahiyama@gmail.com



11月10日(金)～16日(木)は、

アルコール関連問題啓発週間です。

主催：依存症治療拠点機関 旭山病院

共催：北海道アルネット

令和5年度 アルコール関連問題啓発週間 研修会

日時: 令和5年11月25日(土)9:00~11:50

タイムスケジュール

8:40~	受付開始
9:00~	オリエンテーション
9:05~9:45	“ここで出来る”をつなげよう アルコール依存症支援(仮) 梅村真知子 先生
5分休憩	
9:50~10:20	身体科MSWの依存症支援(仮) 田中 幸 先生
5分休憩	
10:25~11:00	グループワーク ・依存症支援に関する現状や課題について ・講師への質疑など
11:00~11:50	全体共有 座長・講師から講評
11:50~	挨拶